

経塚に見る 中世の山岳信仰



堂ヶ谷経塚出土遺物(牧之原市)

交流展

静岡県立美術館
県民ギャラリー

(静岡市駿河区谷田53-2)

令和7年

2月6日(木) - 3月1日(土)

10:00~17:30 / 毎週月曜日休館

※展示室への入室は17:00まで ※2月24日は開館、翌25日は休館

観覧無料

静岡県埋蔵文化財センター

〒421-3203 静岡市清水区蒲原5300-5

TEL 054-385-5500

E-mail maibun_tyosa@pref.shizuoka.lg.jp

URL <https://www.smaibun.jp/>



講演会

静岡県立美術館 講堂

2月22日(土)

13:00~16:30

定員 200人

申込不要 聴講無料

第1部 基調講演

大高康正 (富士山世界遺産センター 教授)

「中世の寺院と“山”との関わり

～信仰と行事から紐解く～

第2部

各県パネラーによるパネルトーク

各県パネラーによるギャラリートーク

主催 静岡県

静岡県スポーツ文化観光部文化局文化財課
静岡県埋蔵文化財センター

山梨県

山梨県観光文化部観光文化振興・文化財課
山梨県立考古博物館
山梨県埋蔵文化財センター

長野県

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課
長野県立歴史館

新潟県

新潟県観光文化スポーツ部文化課
新潟県埋蔵文化財センター
新潟県立歴史博物館

経塚に見る中世の山岳信仰

本州の中央部にある静岡・山梨・長野・新潟の中央日本4県は、東日本と西日本、太平洋と日本海とをつないでおり、古来、多くの人や物が交流することで、お互いの発展を支えてきました。現在、地形的・景観的な特徴から、これら4県を「山の洲」と称して、新たな地域経済圏とする取組が様々な分野で進められています。

令和6年度山の洲文化財交流展では、4県をつなぐ“山岳信仰”に着目します。山は古来より人々にとって、水や木、動物といった生きるために大切な物を与えてくれる反面、火山噴火や土砂崩れなどといった恐ろしい災害をももたらす、まさに神のような存在でした。さらに日本の山岳信仰は仏教とも結びつき、独自の進化を遂げていきました。そのひとつの表れが“経塚”です。仏教と山岳信仰が融合した信仰施設として経塚は中央日本にも広がりました。今回の展示では、各県の代表的な経塚出土品を御覧いただき、地域交流の歴史、そして山の洲が持つ文化資源の魅力を見つめ直す契機となれば幸いです。

【主な展示品】

静岡県 堂ヶ谷廃寺・経塚（牧之原市）



堂ヶ谷経塚は3基が確認されており、1号経塚では陶製外容器内から青銅製経筒、和鏡16点、短刀約56点、曲げられた黒漆大刀（こくしつたち）1点等の埋納品が出土しています。鏡・刀類の埋納数は国内最多です。このような大量埋納の事例は大変希少であり、当該期の仏教の様相を知る重要な資料です。（静岡県指定文化財）

山梨県 篠井山経塚（南部町）



篠井山経塚からは経筒外容器とされる「三河守藤原朝臣頭長」在銘の短頸壺（たんけいこ）が出土しています。これは愛知県田原市の大アラコ古窯で生産された渥美窯の短頸壺で、肩部に頭長の名を含む14行64字の銘文が窺ひられています。同様の銘文を持つ壺が三島市の三ツ谷新田経塚で出土しており、壺は生産地から海上輸送され、富士川を遡上して伝えられたと考えられます。

長野県 鷲寺経塚（長野市）



鷲寺経塚の青銅製経筒と外容器の珠洲（すず）焼壺は文政11年（1828）に鷲寺諏訪社拝殿の造営の際に地中から発見されました。青銅製経筒は無銘ですが、鎌倉時代のもものと推定されています。外容器の珠洲焼壺は能登半島先端の珠洲地方で生産されたもので、新潟を経由して伝えられたと考えられます。（長野市指定文化財）

新潟県 横峯経塚（阿賀野市）



横峯経塚は2基確認されており、1号経塚からは珠洲焼の陶製経筒、和鏡、短刀、木製珠など、2号経塚からは密教大壇具（おおだんぐ）の五鈷鈴（ごくわい）・火舎（かしや）、青白磁合子（ごうす）、白磁皿、玉類、経巻断片など豊富な埋納品が発見されました。このうち短刀類の1号経塚14点、2号経塚33点という出土数の多さは、堂ヶ谷経塚と類似しています。（新潟県指定文化財）

【その他展示予定品】

- ・旧海岸寺経塚（長野県松本市）青銅製経筒 白磁合子（松本市指定文化財）
- ・柏尾山経塚（山梨県甲州市）康和5年（1103）銘 青銅製経筒（国重要文化財 レプリカ）
- ・伊豆山経塚遺物（熱海市）永久5年（1117）銘 青銅製経筒ほか（静岡県指定文化財）
- ・三ツ谷新田経塚（三島市）「三河守藤原頭長」在銘 渥美窯産壺
- ・中屋遺跡（浜松市）黒漆塗瓜文鞍 呪符木簡（静岡県指定文化財）
- ・仁田館遺跡（函南町）こけら経（静岡県指定文化財）
- ・ミョウガ原遺跡（島田市）鎮壇具



旧海岸寺経塚青銅製経筒 白磁合子（長野県松本市） 柏尾山経塚青銅製経筒（山梨県甲州市）



会場アクセス



- ◆静岡鉄道「県立美術館前」駅から徒歩15分
- ◆JR「草薙」駅から徒歩20分
- ◆JR「草薙」駅から「県立美術館」行きバス「県立美術館」バス停下車

令和6年度山の洲文化財交流展講演会

開催日 2月22日（土）

定員 200人 申込不要 聴講無料

13:00 開場 受付

13:30 開会 あいさつ

13:35 基調講演 大高康正（静岡県富士山世界遺産センター 教授）
「中世の寺院と“山”との関わり ～信仰と行事から紐解く～」

14:35 休憩

14:50 パネルトーク開演

新潟県 伊藤啓雄（柏崎市立博物館）

長野県 原 明芳（安曇野市豊科郷土博物館）

山梨県 野代恵子（山梨県埋蔵文化財センター）

静岡県 勝又直人（静岡県埋蔵文化財センター）

大高康正（コーディネーター）

15:50 パネルトーク終演・閉会

16:00 ギャラリートーク（展示室）

16:30 ギャラリートーク終了